

感謝の言葉って、  
「ありがとう」以外にないのでしょうか？

17歳で故郷の佐賀を飛び出して15年。  
僕がここまで俳優を続けられたのは  
応援して下さっている沢山の方のおかげです。  
ありがたい！心からそう思っています。

僕、15歳の時、金髪で眉毛なくて、  
白い目で見られながら、自堕落に消費する毎日と、  
腹は減るから・・・、  
ただ摂取するという毎日を過ごしていました。  
カッコいいと思ってたんです、本気でソレを。

中学3年の3学期の転校組でろくに友達もいなかったのも、  
誰と何に虚勢張ってたんですかね・・・。  
カッコよく『社会にだ！』って言いたいところですが、

【自分に嘘をつく】ことが得意でしたね。

初めて俳優になりたいって口に出したのはいつだったか・・・、

レッドカーペットを歩きたいと思ったのはテレビで見たからで、アカデミー賞がいいと思ったのは日本一だと思ったから。単純です。単純な理由だけどそれが【夢】になったんです。恥ずかしくてとても口に出れなかったんですけど。

『なんで俳優やってるの？』って聞かれてもアカデミー賞のアの字も言えなかったですね。その都度テキトーに言葉を並べてました。

「映画の“ウルトラマンオーブ”がアカデミー賞の話題賞エントリーされてますよ？」  
「なんだそりゃ？」って。  
これ投票出来るの？って。  
・・・知らなかった！ 世の中には知らないことが溢れていますね。

日本人ならばほぼ誰でも知っているだろう国民的ヒーローの「ウルトラマン」。  
その放送開始50周年にあたる“ウルトラマンオーブ”という作品に出演し、  
その作品で夢への道を照らしてもらっている。  
頼りっぱなしだな、ウルトラマンさんに。

ウルトラの世界を担う一端になれたことは僕の誇りです。

折角進むなら、切り拓いて景色を見に行ってみたいと思います。  
挑んだ結果自分の人生がどう変わるのか、それを楽しみたいと思うんです。

演じた「ジャグラスジャグラー」という闇の中に光を抱いた存在は唯一無二のアンチヒーロー、一生背負って生きて行く、最高の存在です！

どうぞ、＜アカデミー賞話題賞＜作品部門/俳優部門＞の存在を知り、よかったら3月公開カテゴリーにある『劇場版ウルトラマンオーブ』と、俳優「青柳尊哉」への投票をお願いします。

なんだか面白そうな事やってるなど、応援して頂けたら嬉しいです。 2018年1月30日

青柳尊哉

